

令和5年度 第2回石狩市厚田区地域協議会 会議録

【日時】 令和5年7月20日(木) 18:00～18:45

【場所】 厚田総合センター 2階ホール

【出席者】 9人(14人中)

役職	氏名	出欠	役職	氏名	出欠	役職	氏名	出欠
会長	渡邊 教円	○	委員	鎌田 憲一	○	委員	平賀 敏和	○
副会長	東 幸子	○	委員	小山 玲子	○	委員	村本 龍一	○
委員	石田 靖子	×	委員	今 光江	×	委員	森田 瞳	○
委員	大内 さつき	○	委員	笹谷 清一	×	委員	八木沼 英晃	×
委員	岡山 拓	○	委員	角野 亮太	×			

※会長・副会長を除き、五十音順

厚田支所 ～ 東支所長、吉田市民福祉課長（併 厚田生涯学習課長）

企画課（厚田浜益担当）～

地域おこし協力隊 ～ 奥本隊員、竹林隊員

集落支援員 ～

事務局（地域振興課）～ 渡部課長、近藤主査、中村主任

【傍聴者】 1名

【次第】 1. 開会

2. 会長挨拶

3. 情報交換会（リラックスタイム）

4. 報告事項

（1）先進地視察実施報告について

5. 協議事項

（1）第9期の総括について

6. その他

7. 閉会

1. 開会

開会前に事務局（渡部課長）より、今委員、笹谷委員、石田委員の3名の欠席を報告。

2. 会長挨拶

渡邊会長より、委員の皆様へ本日参加いただいたお礼と、協議事項の中で忌憚のないご意見をお願いし挨拶に代えた。

3. 情報交換会（リラックスタイム）

岡山委員より「厚田学のまとめ」について、小山委員より「道の駅5周年記念イベント」について、それぞれ情報提供を行った。

4. 報告事項

（1）先進地視察実施報告について

【 渡邊会長 】

それでは、次第に沿って進めさせていただきますので、先進地視察実施報告について、事務局からお願いいたします。

【 事務局（近藤主査） 】

沼田町視察について報告を行う。

質疑応答を資料として配付しているため、各自参考にしていただきたい。

【 渡邊会長 】

はい、ありがとうございます。せっかくですので、参加された委員の方から感想をいただきたいと思います。

【 鎌田委員 】

色々とお話を聞かせていただきましたが、厚田が目指しているものとは違うなと感じました。カンパニー構想とは大分違うなど。と言うのは、沼田町は町が助成金なりを出す色々な制度を作っています。今時、やはりそれくらいしないと人口減に歯止めがかからないんだなと、言わば公助です。

厚田の場合は、公助ではなく、自助、共助の部分をやろうとしているため大分違うなと思いつつ、やはり行政の力を借りないと難しいのかなとも思いながら帰ってきました。

【 渡邊会長 】

ありがとうございます。

町長の思い入れが強いということで、町全体を挙げての取り組みですからね、相当力が入っているのだろうと。20代で新築建てたら570万円でしたっけ、大きいですね。その他、運転免許費用や高校通学費の助成とかもありましたね。

厚田の場合は、通学定期代も大きいですが、やはり通学しているとなかなか部活ができない。部活が終わった後だと、バスがないから親御さんが迎えに行くとか忙しい思いをしたり、部活を断念するなんてことも新聞に出ていました。そういったことを解決できるようなデマンドバスのようなものがあつたらいいなと思っております。

【 大内委員 】

私が一番いいなと思ったのは、住民生活課の中に移住定住応援室があるということです。やはり専門部署があるということで、空き家の情報があればすぐに再利用に向けての動きをする、人から人へとつなぐといった、瞬時

にそういったことをやっているのだなと印象に残っています。

これは石狩市ではなかなか実現できるものではないなと思ったのですが、やはり市長さんが移住定住についてどう思っているのかということを一に考えました。

【 渡邊会長 】

そうですね、彼らはすごく頑張っておられるようでしたね。支所でいうと地域振興課にそういった専門部署を置くというのも一つの手かもしれないですね。

【 森田委員 】

色々な取り組みをされていて素晴らしいと感じましたし、職員の熱意もすごく伝わってきました。なかなか数字には現れない取り組みだと話されていて、質疑応答の真ん中にちょっと暮らしのことが書いてありますが、3,000件実施して成果は2件って、ほんとに大変な思いをされているんだろうなと思いました。

成果を図る物差しがないとおっしゃっていて、そういった数字には現れないところがある中で、町民の理解とか、議会の対応とか、色々のご苦労があるのではないかと察しますが、沼田町の未来を思うお話しに、とても職員の意気込みを感じました。

具体的にいいなと思ったことは、町に関わった方のご縁を大切にしているということと、スピード感を意識していること。特にスピード感というのは私も大事だなと思っていて、移住を考えている方は他にも色んな土地を候補に挙げていると思うので、その要望にスピーディーに対応することは大事なことだと思いました。

【 渡邊会長 】

ありがとうございます。

うちの本堂の玄関に一期一会と木彫りされた物があるのですが、まさしく沼田町ではその一期一会を大切にしていって、繋がりを持っていく、素晴らしいことだなと思いました。地域おこし協力隊も16名でしたか、「迷ったら採用する」という、我々とは違いますよね。去年は応募に7名ですか、すごく迷いましたよね。

とにかく、町を挙げて力を入れて取り組んでいるということで、厚田とは違いますよね。

参加された委員の方からの意見を聞きましたけれども、事務局の方からもありますか。協力隊からも聞きましたよね。

【 竹林隊員 】

先ほどの話しにも出ましたが、協力隊の人数が多いなと感じました。「それぞれの協力隊が町で何をしたいのか」、というフリーミッション型というか、そういうミッション型ではない選び方もいいのかなと感じました。

【 奥本隊員 】

自分は夕日に惹かれて厚田に住んでおりますので、山のまちには全く興味がなかったんで、何も響かなかったという思いです。

【 東支所長 】

職員の姿勢も含めて非常に厳しいお言葉もあったかなという印象を受けております。沼田町自体はコンパクトシティということで、歩いて様々な場所にすぐに到達できる、そういったコンセプトで動いてこられたのだと思います。

病院が町の財政を非常に圧迫と言いましょうか、厳しい状況があって、それを打開するということを町民が色んな意見を出して、「こうして行こう」と方向性を決めた。非常に厳しい状態を乗り越えるために多くの町民が

関わったということが非常にいい形になったのかなというように聞こえました。また、首長の思いというものが大きかったというのは、皆さんも参加してわかったところではないかなと思います。

厚田でどういうふうにとということについては、ただ今意見をいただいたように委員それぞれの思いがあると思いますので、意見を出し合って、一緒に精度を上げていくというような議論をしていきたいと思っております。

【事務局（渡部課長）】

私の率直な感想ですが、近説遠来をうまくやられていると思いました。厚田の場合はまずは近説をとということでやっていましたが、沼田町は近説と遠来を合わせてやっていると、うまく結びついているのかなと感じました。

結局、外から呼ぶお金も付いておりますが、今住んでいる方にもプラスとなるような取り組みはすごく上手だなと思ったのと、やはりトップの考え方が一番大きいんだと思いました。

石狩市では移住定住の窓口は企画課になっておりますが、今回の視察のテーマからすると、企画課も一緒に行って勉強しておけばと戻ってから感じていたところです。

【渡邊会長】

はい、今回の研修を今後の地域協議会の参考にしていきたいと思っております。

協議事項に入りたいと思っております。事務局からお願いいたします。

5. 協議事項

(1) 第9期の総括について

【事務局（近藤主査）】

資料に基づき説明を行う。

【渡邊会長】

ありがとうございます。

第9期の総括ということで、これまでの協議内容について説明を受けましたが、残りの協議会での継続協議となります。第10期への引継ぎ事項として残り2回の協議会で協議していきたいと思っております。

6. その他

次回日程 8月31日（木）18：00～ 望来コミセン

事務局（渡部課長）より道の駅開業5周年記念事業マルシェ第2弾の案内

7. 閉会

18時45分に閉会。

令和5年8月18日 議事録確定

石狩市厚田区地域協議会

会長 渡辺 教 円